

### 当月のS&P MLP 指数の動き

11月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+5.4%と4か月ぶりの上昇となりました。堅調な米経済指標の発表や米政府機関閉鎖解消への期待などを背景に、MLPは月初から上昇基調となりました。中旬にかけて、ハイテク株を中心に米国株式が下落したことなどに伴ない、MLPも下落する場面がみられたものの、その後は、米利下げ期待を背景に、米国株式が反発するなか、S&P MLP 指数は4月初以来の高値水準で月末を迎えました。

### 過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)



MLP:S&P MLP 指数、米国株式:S&P 500 種指数、原油:WTI

### 主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3か月前月末	前年末	1か月	3か月	前年末比
	2025/11/30	2025/10/31	2025/8/31	2024/12/31			
<b>S&amp;P MLP 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	10,174.84	9,649.48	9,981.79	9,363.36	5.4%	1.9%	8.7%
プライスリターン	1,771.35	1,700.28	1,771.81	1,759.87	4.2%	-0.0%	0.7%
<b>S&amp;P 500種 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	15,211.14	15,173.95	14,304.68	12,911.82	0.2%	6.3%	17.8%
プライスリターン	6,849.09	6,840.20	6,460.26	5,881.63	0.1%	6.0%	16.4%
<b>S&amp;P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,628.05	1,588.48	1,613.52	1,501.02	2.5%	0.9%	8.5%
プライスリターン	686.63	674.74	686.39	654.85	1.8%	0.0%	4.9%
<b>S&amp;P 米国 REIT 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,928.52	1,882.33	1,890.75	1,828.72	2.5%	2.0%	5.5%
プライスリターン	360.26	352.21	356.81	353.27	2.3%	1.0%	2.0%
<b>米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))</b>							
トータルリターン	1,855.00	1,845.82	1,828.24	1,720.74	0.5%	1.5%	7.8%
プライスリターン	70.31	70.33	70.43	69.26	-0.0%	-0.2%	1.5%
<b>米国10年国債利回り</b>							
	4.01%	4.07%	4.23%	4.57%	-0.1%	-0.2%	-0.6%
<b>原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり</b>							
	58.55	60.98	64.01	71.72	-4.0%	-8.5%	-18.4%
<b>天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり</b>							
	4.85	4.12	3.00	3.63	17.6%	61.8%	33.5%
<b>米ドル(対円)</b>							
	156.18	153.99	147.05	157.20	1.4%	6.2%	-0.6%

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成  
 ※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。  
 ●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 当月の出来事いろいろ

- 5日、民間調査の集計で、10月の米雇用者数が3カ月ぶりに増加し、市場予想も上回った。また、同月のISM(供給管理協会)非製造業景況指数が予想を上回り、2月以来の高い水準となった。米国株式市場では、朝方にはハイテク株への売りが続いたが、それが一巡すると、米景気が底堅さを保っているとの受け止めが広がったことなどから、相場が反発した。米週間統計で原油在庫が3週ぶりに増加し、予想を上回ったことなどから、原油先物が売られた。
- 12日、OPEC(石油輸出国機構)は月報で、7-9月期の世界原油市場について、供給が不足するとの従来の見方を改め、供給過剰になったとの見解を示した。これを受け、原油先物が大きく下落した。
- 19日、10月の米FOMC(連邦公開市場委員会)の議事要旨が公表され、幾人かの参加者は12月の会合での利下げは十分適切との見解を示した一方、多くの参加者が年内は政策金利の据え置きが適切と主張したことなどが明らかとなった。また、労働統計局は、政府機関閉鎖の影響で、10月の雇用統計を発表しないと明らかにした。米政府が、ロシアとウクライナの紛争終結に向け、ウクライナに譲歩を迫る内容の和平案を受け入れるよう求めたと報じられたことを受け、原油先物が売られた。
- 21日、トランプ米大統領がウクライナに27日までに和平案を受け入れるよう求めたと伝わった。これを受け、同案が成立すれば、ロシアの原油輸出が拡大するとの憶測から、原油先物が売られた。
- 25日、米国で発表された、9月の小売売上高、11月の消費者信頼感指数などの経済指標が、総じて弱い内容だったことを受けて12月の利下げ観測が強まり、米国株式は上昇した。ただし、原油先物は、ウクライナとロシアの和平への期待を背景に反落した。

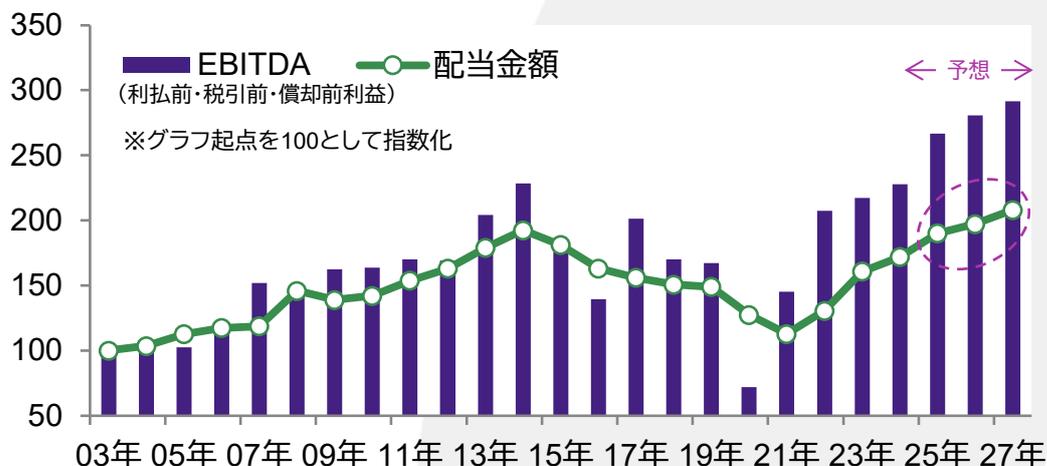
## 今後の注目点

- 12月9・10日開催の米FOMCにおいて、市場では追加利下げを行なうとの見方が大勢を占める中、利下げの有無に加えて、公表される声明文や参加者による経済見通しなどにも注目が集まる。

## MLPの配当金額見通し

2025年7-9月期の決算では、前年同期比で増配とするMLPが半数\*を上回りました。なお、市場予想によると、MLPの配当金額は今後も、増加が続く見通しです。

MLP\*の利益と配当金額の推移 2003年～2027年予想 \* S&amp;P MLP 指数ベース



信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成  
※予想は2025年12月1日時点のコンセンサス予想

●上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

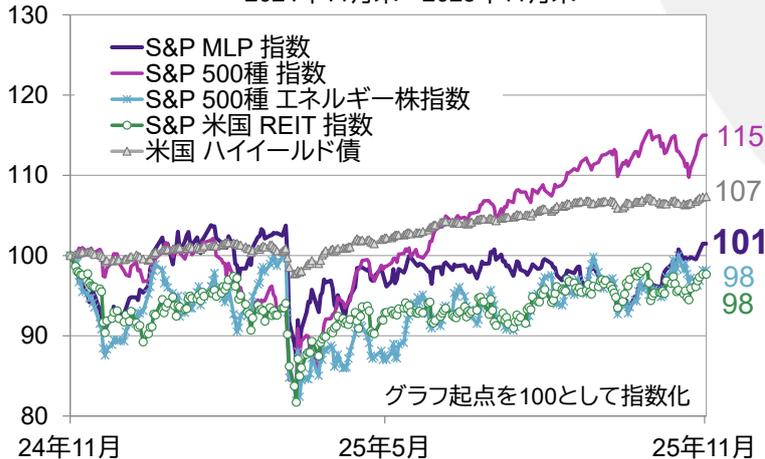
2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

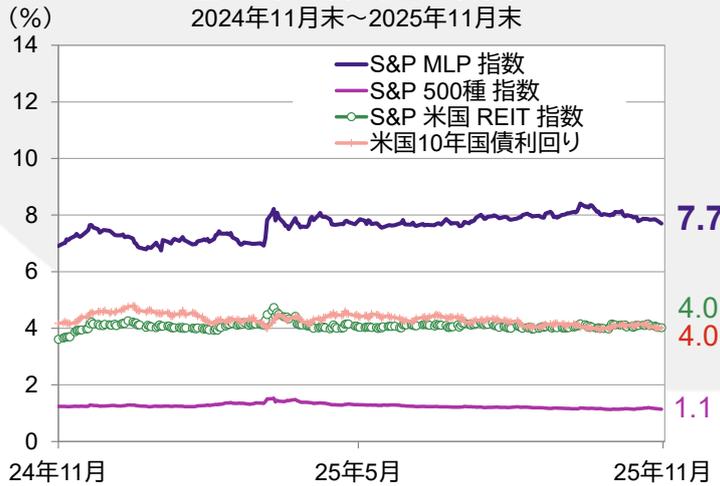
過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

2024年11月末～2025年11月末



過去1年の各資産の利回り

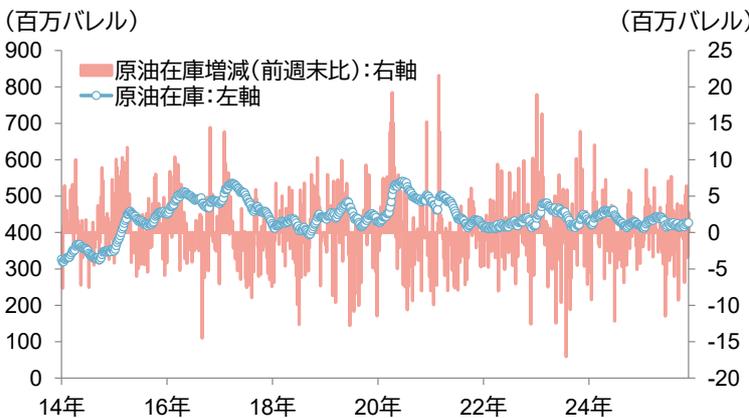
2024年11月末～2025年11月末



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。  
※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

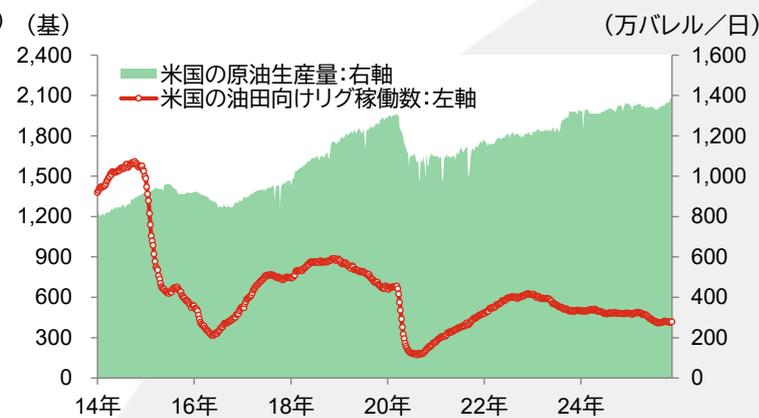
米国の原油在庫

2014年1月第1週末～2025年11月第3週末



米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

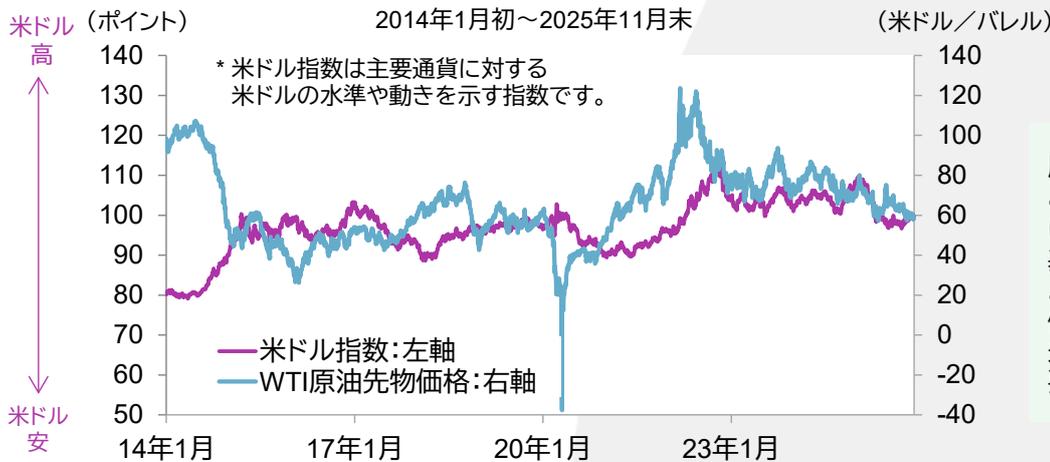
2014年1月第1週末～2025年11月第3週末



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

原油価格と米ドル指数\*

2014年1月初～2025年11月末



\* 米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。